

5月の 園便り



30年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

「根っこは子どもたち
目とこま」

こうしてはにむがもよういが
できたとき、春がやって
きました。

園庭で「ふくろ、2まいちょうだい！」とちあきちゃん、「は〜い」と袋を1枚あげて様子を見ていました・・・というのは袋を使う目的があいまいだったり、あるいは、いっぱい欲しいだけだったりすると、すぐにいらなくなってポイっということになって

園庭のあちらこちらにビニール袋が散乱してしまうことになってしまうのです・・・

子どもたちが袋をもらいに来ると「何に使うの？」と聞いたり、何気なく様子を見たりして、袋の使い道を確かめています。ちあきちゃんに袋を一枚渡すと、左の手を入れました。ひょっとして手袋の代わり？だとしたらもう一枚必要？と思いながらいると「ねえ、もういちまい」とちあきちゃん。やっぱり二枚なのね、と心の中で思いながらもう一枚の袋の口をあけて、手を入れやすいようにして差し出すと、ずっと右手を袋のなかに入れました。私が「使うの終わったらゴミ箱に入れてね」と言いますとちあきちゃんは「ん？ゴミ箱どこ？」と聞きました、ゴミ箱の場所をわざわざ確認したちあきちゃんにちょっと驚きました、こんな時、「は〜い」と返事だけしてさっさと遊びにいってしまう子どもが多いのですが、ゴミ箱の場所をきちんと確認していたちあきちゃん、きっと使い終わったらゴミ箱に入れてくれることでしょう。ちあきちゃんは、手が汚れないように手袋をして、泥んこや水で遊んだのかもしれませんが・・・目的があって必要なものを取りに来たちあきちゃんです、いいですね、担任じゃなくても誰にでも言いたいことが言えて、自分の世界を充実させるために、自分の要求を言葉にして相手に伝える、これはとても大事な力です。年長の終わりまでには「自分の思いを言葉にして相手に伝える、そして相手の言葉を聞いて相手の気持ちを理解するという力」を育てることを目的としています。

この力を育てるために、子どもたちが言いたいことが言えるように、保育者は姿勢を低くして寄り添い、心で聞くようにしています。子どもの言葉をきちんと受け止めてくれない人に、言いたいとは思いませんからね、すべて聞いて、無理なこと、実現できないことに関しては丁寧に断りますが、保育者はできる限り実現に向けて努力します。こうして、子どもたちが「言いたいことを言うっていいことだ、やりたいことができるんだもの」と感じることができるようになっています。“言いたいことが言える”これをまず十分に経験して、やがて、言い方・言葉の使い方を正していくようにしていきます。子どもたち一人ひとりが、自分の言いたいことが言えるようになって欲しいと願っています。

5月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:00		
2	水	○	2:00		
3	木	／	／	憲法記念日	
4	金	／	／	みどりの日	
5	土	／	／	子どもの日	
6	日	／	／		
7	月	○	2:00		
8	火	○	2:00		
9	水	○	2:00		
10	木	○	2:00		
11	金	○	2:00	父母の会総会が行われます。	
12	土	／	／	第2土曜日	
13	日	／	／		
14	月	○	2:00	赤ばら1組学級懇談会を行います。	幼児教育学科一年生の実習が始まります。
15	火	○	2:00		
16	水	×	11:30	誕生会、5月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いいたします。	
17	木	○	2:00	赤ばら2組学級懇談会を行います。	
18	金	○	2:00	定期健康診断を行います。	
19	土	×	11:30	自由登園日	
20	日	／	／		
21	月	○	2:00		幼児教育学科一年生実習第2班
22	火	○	2:00		
23	水	○	2:00		
24	木	○	2:00		
25	金	○	2:00		
26	土	／	／	第4土曜日	
27	日	／	／		
28	月	○	2:00		幼児教育学科一年生実習3班
29	火	○	2:00		
30	水	○	2:00		
31	木	○	2:00		

お出かけが多くなる連休ですが、子どもサイズの楽しみも（家の近くの公園や周辺の自然の中を歩く）計画に入れていただけますように・・・